

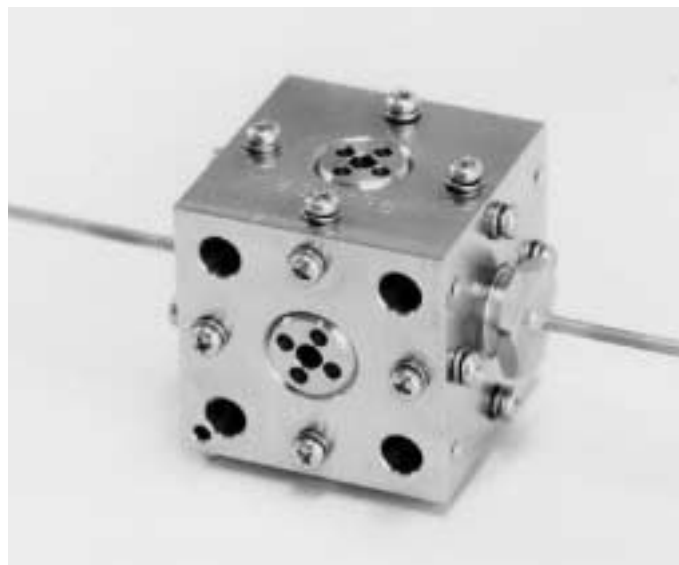
# TSC-W SERIES

## 窓付超臨界セル

超臨界状態での分析、観察が可能です。

### 特徴

- 1.小容量、コンパクトです。
- 2.両面窓により超臨界状態での光照射による分光、吸光分析等や観察が可能です。
- 3.分光器に合わせた設計製作のご相談にも応じます。
- 4.必要に応じて、加熱、温度コントロールが可能です。
- 5.耐食性や強度に十分配慮した設計です。



当社の長年にわたる硝子に対する実績と経験に基づき開発、採用されたTTSシール機構によって高温、高圧での窓部のシールが可能になりました。本シールの使用により締め付けも特殊な技術や大きな力を必要とせず、女性でも手締め感覚で行えます。オプションによる温度制御では加熱方法等にも配慮し、均等で効率の良い制御が可能です。

### 仕様

材質： セル本体・ハステロイC-22  
窓部・サファイア  
窓押さえ・インコネル

容積： 約1ml  
最高使用圧力： 40MPa  
最高使用温度： 400  
窓部透過波長： 約250nm ~ 約3500nm

### オプション

- 1.棒状ヒーター
- 2.温度制御装置
- 3.加圧用プランジャーポンプ
- 4.圧力センサー及び表示器
- 5.締め付け架台

### 付属品

- 1.高圧バルブ



### 小型超臨界観察セル（液化二酸化炭素用）

加熱は外部のアルミジャケットに恒温液体を循環することによりコントロールします。この方式では循環液の温度によって冷却も可能なため、実験の温度範囲によっては昇温冷却プログラムコントロールも可能です。（循環恒温液槽の能力に依存）

この他、お客様のご希望の仕様（圧力、温度、形状等）での製作についてもご相談ください。